



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリーに輝きを」 Light Up Rotary

2014-15年度 RI会長/ゲイリーC.K.ホアン RI.D2590ガバナー/大野 清一 横浜旭RC会長/増田嘉一郎

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日/12時30分~1時30分



2015年6月17日 第2201回例会 VOL. 46 No. 45

- 司 会 SAA 齊藤 善孝
- 開会点鐘 会 長 増田嘉一郎
- 齊 唱 手に手つないで
SL 福村 正

■出席報告

会 員 数	35 名	本日の出席数	25 名
本日の出席率	86.21%	修正出席率	90.0%

■本日の欠席者

桜田、佐藤真吾、松本

■ビジター

杉本 賢司様 (2014-15 年度第 5G ガバナー補佐)

■ゲスト

吉永様、伊藤様 (旭区地域振興課)

■皆出席者表彰



市川 慎二会員 3年

杉山 雅彦会員 2年

■会長報告

1) 6月13日岩沼ロータリークラブとの間で、災害時相互支援協定を締結しました。回覧します。今年度会長テーマとして、災害が起きた時に、当クラブは具体的にどう動くのかについて、当座は、岩沼ロータリークラブから情報収集活動をしてくれることになりました。

当クラブの会員は、まず家族の、そして職場のことに専従して家族と職場の体制を整えてから、順次準備ができた会員が災害対策本部を立ち上げ、岩沼ロータリークラブが集めた情報をもとに、地域のための奉仕活動に着手するのです。勿論再び岩沼が被災したときには、当クラブが全面的に支援活動をするようになりますが、多分今度被災するのは横浜ではないかと予想しています。災害発生後の、当クラブの行動の道筋を明確にすることができました。既に配布しました防災簡易心得帳「てんでんこ」を参考に災害に備えて準備をし、また災害時には冷静に対応していただければと思います。「てんでんこ」を是非有効に活用されて、災害に備えてもらえればと思います。

会長テーマに十分以上の成果を挙げられたことに、五十嵐災害対策ワーキング・グループ座長には、改めて感謝する次第であります。

2) 6月22日は二十四節気の10番目夏至です。北半球では、1年中で、1番昼が長く、夜が短い日です。冬至と比較すると、昼夜の時間差は、4時間以上あります。暦の上では夏の

真ん中になります。梅雨のさなかで、暑さのピークは、1か月程後になります。冬至にはゆず湯に入ったり、かぼちゃを食べる習慣がありますが、夏至は様々で、関西ではタコを食べる習慣があります。稲の根がタコの8本足のよう深く広く根を張ることを祈願するものです。関東では新小麦の収穫を祝って焼餅をつくり神に供える風習があります。

3) 本日は、今年度第5グループ杉本ガバナー補佐をお迎えしております。1年間お疲れ様でした。そしてお世話になりました。

卓話は、「1年を振り返って」ということで、会長・幹事が担当します。岩沼ロータリークラブ会員をも交えての親睦旅行も終え、あとは来週の最終例会を残すのみです。本日発生しました問題は、今日例会終了後処理をして、以後何か問題が起きても、次年度に回すだけです。ロータリーのことは忘れて1週間を過ごさせてもらいます。

■ 6/13 岩沼 RC と災害時相互支援締結式



岩沼親睦旅行記念撮影 駅前にて

■ 幹事報告

1) 例会変更のお知らせ

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 6月30日(火)夜間移動例会

点鐘 17時30分

場所 あいちや

西区南幸 2-17-6 Tel 045-311-2528

■ ガバナー補佐退任の挨拶

杉本 賢司

早いもので私のガバナー補佐としての任期もあと2週間ほどとなりました。ガバナー補佐としての役割上、ロータリーデー、IM, R財団寄附、米山奨学寄附など、



いろいろとお願いさせていただきました。御協力をいただき大変有難うございました。

貴クラブは2011年の大震災以降、復興支援活動にも力を入れられており、素晴らしい奉仕活動をされております。そのような活動を地区に広くPRする機会を持てなかったのが私の反省点としてございます。

私の貴クラブに対する印象は組織的にきちんと運営されていて、奉仕活動も活発に行っているクラブというものです。今後とも継続して素晴らしい活動を行っていくことをお祈りして、退任の挨拶とさせていただきます。

■ 次期幹事より

市川 慎二

本日18時30分よりクラブ事務所にて第2回目のクラブ協議会を行います。ガバナー補佐一楽さんをご出席されますので、必ず出席をお願い申し上げます。欠席の場合は代理をお願い致します。又、クラブ協議会はメーカーの対称となります。前回お配りしたものに、いくつか変更がございますので、再度お配り致します。

■ 次期親睦委員会より

北澤 正浩

次期親睦委員長としてご案内申し上げます。このゆびとまれ企画として「川崎競馬ナイトレース観戦」を募集しております。本日締切ですので、ふるってご参加ください。

■ 兵藤 哲夫会員より

この度に商大高校インターアクトクラブのことに、大変混乱を起こしてしまいました。私自身の勝手なケジメとして、一年間を謹慎期間と考え、一時クラブを退会します。もしも一年後、どなたかの推薦と私自身の健康状態が許されれば、またお仲間に戻りたいと考えております。有難うございました。



■ ニコニコBOX(会員敬称略)

杉本賢司様(新横浜RC) / 1年間2590地区運営にご支援ご協力をいただきまして、大変有難うございました。感謝申し上げます。次年

度以降も皆様方のご活躍をお祈り申し上げます。

増田嘉一郎／①市川親睦委員長、岩沼 RC との合同親睦旅行ではお世話になりました。有意義に過ごせたと思います。②杉本ガバナー補佐、ようこそ。1年間お世話になりました。これからも例会にお越し下さい。

漆原恵利子／①杉本ガバナー補佐、本日はようこそいらっしゃいました。よろしくお願ひ致します。②今日の卓話は1年を振り返ってとしまして幹事スピーチの時間を頂いております。ほんの少しだけ皆様のお耳を拝借いたします。1年間ありがとうございました。

安藤 公一／①増田会長、漆原幹事、一年間お疲れ様でした。実質今日で終わりですね。②杉本ガバナー補佐、ようこそ。③祝なでしこジャパン、予選リーグ首位通過。

吉原 則光／増田会長、漆原幹事、一年間大変お世話になり有り難うございました。最終卓話楽しみにしております。

福村 正／①岩沼 RC との会合にご参加の皆様、お疲れ様でした。市川さん、お世話になりました。②増田会長、漆原幹事、ご苦勞様です。あと少しですね。

倉本 宏昭／①増田会長、漆原幹事他役員の皆様、多難な1年お役ご苦勞様でした。②杉本ガバナー補佐ようこそ。1年間お疲れ様でした。

後藤 英則／増田会長、漆原幹事、一年を振り返り楽しかったでしょ！ご苦勞様でした。

市川 慎二／①杉本ガバナー補佐、本日はお忙しい中、ありがとうございます。②岩沼旅行では皆様に大変お世話になりました。③増田会長、漆原幹事、本当にお疲れ様でした。来年はご指導を宜しくお願ひ致します。④皆出席を頂き有難うございます。

杉山 雅彦／皆出席を頂きました。3年目、頑張ります。

二宮 登／杉本ガバナー補佐、一年間お世話様でした。

二宮麻理子／ガバナー補佐杉本様、ようこそいらっしゃいました。

新川 尚／増田会長、漆原幹事、一年間お疲れ様でした。

佐藤 利明／①杉本ガバナー補佐、大変ご苦勞様でした。②岩沼 RC との合同親睦会、楽しく良い思い出になりました。

青木 邦弘／①増田会長、漆原幹事、一年間ご苦勞様でした。②岩沼では市川さんにお世話になりました。③今月のロータリー友誌に親睦活動の紹介があります。マージャンは入っていません。理由は少なくとも3カ国の会員を含んでいること、と言うのが原因かもしれません。

鈴木 茂之／みなさん、こんにちは。増田会長、漆原幹事一年間お疲れ様でした。本日の卓話楽しみにしています。

五十嵐 正／先日の岩沼旅行では、会長をはじめ担当委員の皆様には大変お世話になり、有難うございました。姉の野中道子も、皆様に気を使って頂き、お陰様で楽しい旅行になったと申しておりました。お礼申し上げます。

■卓話 「この一年を振り返って」

○2014-15年度

幹事 漆原恵利子

この1年を振り返って思いますことは、私にとっては「父を看取る1年間」でした。ただ、それは結果であって、その最中においてはひたすら目の前の成すべき事を夢中でこなしてきた1年間でした。



幹事としてのそもそもの発端は、2013年の後半、その時点では次年度会長予定者であった増田さんからの電話を受けたことからでした。増田さんから直々にお電話なんて珍しいことですから、なんとなく察した上でお話を聞き、さて、どうしようかという気持ちでしたが、入会して間もなくの頃に複数の諸先輩方から「ロータリーは、頼まれたらノーとは言わない」という教を授かった記憶が残っており、つい、承諾することといたしました。

しかしその後、父の体調が徐々に落ち込み、結果的には最も引き受けるべきではない1年間でした。増田会長には迷惑をかけたこともしばしばで、大変申し訳なく思っています。月次理事会も、夜間ではなく例会終了後に開催することというお願ひを聞いていただきました。会長としては、理事会終了後にお酒を酌み交わしながら語り合うことも有意義と考えておいででしたから、日中の理事会で終始することになってしまったことも申し訳なかったと感じています。しかし、年間を通してみますと、幾つかのこと

が成し遂げられたと思います。年度当初には、クラブ財政について、当年度は例年通りに過ごそうと話していましたが、年度途中から取り組むこととなり、事務所移転問題に波及し、ひいては会費の改定に至る決定をしてしまいましたし、災害対策検討会では「てんでんこ」というリーフレットを集大成することができました。近年、作成が見送られていた会員名簿も増田会長の事務所のご協力で作成されました。武者行列やこのゆびとまれのお料理企画は私にとってよい思い出となっています。

今年度、私は幹事として戦力になれませんでした。増田会長と会員皆様のご協力とご理解のおかげで、なんとか1年間を過ごすことができました。来年度は、また別の立場で、クラブの役に立てるように心がけると同時にロータリーを楽しみたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。1年間どうもありがとうございました。

○2014-15年度 平穩無事

会長 増田嘉一郎

1) はじめに

5月20日に引き続いて、今年度を振り返ります。前回は、今年度特有の活動を「波乱万丈」と題して話しましたが、今回は「平穩無事」と題しました。今回は、毎年恒例のプログラムについて、時系列的に、各委員会の活動を中心に取上げていきます。

2) ガバナー公式訪問

平成26年7月1日から2014～15年度が始まりました。7月23日にガバナー補佐を迎えてのクラブ協議会が開かれました。ガバナーの公式訪問が8月の第1週に予定されたため、その2週間前となります。ここ数年、当クラブはガバナー公式訪問が8月第一週となること続きます。そのためには、7月1日年度始めにクラブ委員会活動計画書が完全にでき上がっていることを要します。当クラブにとっては、あたり前のことと思いましたが、会長になって知ったところでは、7月初め当年度の活動計画書の印刷ができ上がっていないクラブもあるようです。確かに7月初めに活動計画書を完成させるためには、各委員長に忙しい思いをさせています。しかし、新年度のスタートに当たって、活

動計画書ができ上がっているということは、また、7月第3週にクラブ協議会を開き、1年間の活動計画を会員相互に確認する機会をもてるという意味では、ガバナーの公式訪問が、8月第1週というのも悪くはないと思っています。

3) 横浜商大高校インターアクトクラブ

横浜商科大学高校インターアクトクラブの件では、いろいろなことがありました。8月23日、横浜商大高校インターアクトクラブの学生達を迎えての青少年フォーラムが開かれました。本来9月が新世代のための月間ですが、学生達の都合の良い夏休みに合わせたのです。お世辞でも、インターアクトクラブに入りたくて、商大高校に入ったという学生がいたことはうれしい限りです。7月、会長になって直ちに、佐藤青少年奉仕・インターアクト委員長と共に、商大高校インターアクトクラブの顧問の先生のところへ挨拶に伺いました。その時受けた印象が悪く、先生に全くやる気が感じられず、インターアクトクラブは今年度創立50周年を迎えるのに、この先どうなるのかと不安になりました。ただその後、この顧問の先生とは、文化祭、地区大会、そして当クラブのチャリティーコンサートと3回お目にかかりましたが、私の印象は変わりました。顧問の先生と学生達は、信頼関係に結ばれており、インターアクトクラブの活動を心から楽しんでいるように見受けられました。

ただし、商大高校との接渉に苦勞された佐藤青少年奉仕・インターアクト委員長の印象は当初と変わらなかったようです。確かに10月19日にロータリーデーとして計画した旭ふれあい区民祭りに、インターアクトの出席が得られなかったというのは残念なでき事でした。また事務局も地区からインターアクトへの照会の回答がない、あっても何回か催促をした後でやっとということで、苦勞をかけておりました。やはり商大高校の教育問題であるのに、インターアクトに関しては校長ではなく、理事長の威光が見え隠れすることに問題があるように思われました。9月の情報集会で皆さんの意見を聞きましたところ、全ては学校側の意向にかかっているとの意見が多かったかと思えます。ただ、文化祭で学生達は嬉々として岩沼産こしひかりを販売しており、また地区大会の時に別室で開かれた全インターアクトクラブが行った活動報告では、同校は高い評価を得ておりました。4月27日に次年度インターアクト委員長が、商大高

校理事長と会った際に、商大高校インターアクトクラブの活動を終了さすとの話がでたのですが、松本良彦名誉会員が亡くなった当日に、現理事長から私宛にFAXがあり、インターアクトクラブの活動は継続するとの連絡がありました。商大高校がインターアクトクラブの活動を継続するといっている以上、今年度はインターアクトクラブの提唱クラブとしての活動は継続することにしました。次年度のことは、次年度理事会の判断となります。ただ、30名の学生がロータリークラブに失望しないことを願うものです。

4) 出席率 100%

9月24日2年半続いた例会出席率100%が途切れしました。第1回クラブ協議会で、出席委員長に出席率100%に拘わることなく、自然体で進めてくれればよいという私の考えを申し上げておりました。吉野元出席委員長からは、せめて3年は続けたかったというお言葉もいただきましたが、鶴峰ロータリークラブがなくなって土曜日のメイクアップができなくなった以上、今年度100%を維持するには、会員皆様に仕事の面だけではなく、精神的に相当無理を強いることが当然に予想されました。私としては、吉野元委員長には申し訳ありませんでしたが、これで良かったのではと思っております。以後例会が出席率100%を割る日が何回かありましたが、お2人メイクアップされなかったのが1回で、後は全てお1人がメイクアップせずという結果でした。8月に矢田会員から腰をいためて例会に出席できなくなったから、すぐ理事役員会を開いて出席免除を承認せよとFAXがきて、あわてて持回り理事役員会で承認を得たというのも、今となっては懐かしい思い出です。

4) 職業講話

10月に入ると、各委員会の活動が本格化していきました。10月9日職業奉仕委員会の県立旭高校での職業講話が行われました。講師8名を派遣し、同校の1年生を対象に、各講師の現在の職業へ至った経緯、選択した動機とか、あるいは将来の職業のために高校に在学する今、何をやるのか等について講演をします。私の事務所の講師を務めた弁護士は、タウンニュースの記事となり、同紙がインターネットで配信されているため、思わぬ知り合いから反響があったと、喜んでいました。当クラブでも10年以上続いているプロジェクトですが、第5グループの会長幹事会での各クラブからの活動報告を聞

いていると、多くのクラブが高校での職業講話を実施しています。職業奉仕というのは、クラブ自身のプロジェクトとしてどう取り上げるかは、五大奉仕の中でも、最も難しい分野であり、この職業講話を継続していってもらえればと思っております。なお、田川職業奉仕委員長には、職業奉仕フォーラムにおいて、自らの卓話で職業奉仕をやさしく解説いただきました。田川委員長のロータリーにかけける熱意には頭が下がる思いです。

6) ロータリーデー

10月19日にロータリーデーとして、旭ふれあい区民祭りに参加しました。社会奉仕委員会と災害対策委員会により、東日本大震災の前後の写真をパネルに貼って、東北各地の状況を、展示しました。会場ステージのプログラムとして、プロの芸人を呼んで漫談を提供しました。メインイベントは、鶴ヶ峰で亡くなった畠山重忠生誕800年記念武者行列です。会員有志は鎧兜を纏って畠山勢に扮し、鎌倉と厚木から武者姿の同好の方々に鎌倉勢として応援を依頼し、午前午後の2回会場内外を行列し、ステージでは畠山重忠最後の場面を演じ、見物の方から拍手喝采を浴びました。問題は、ロータリーデーです。地域へ、区民祭りの参加者へロータリーとしてのアピールが十分にできたかです。ガバナー方針でロータリーデーを設けるように指示され、急遽活動計画書の区民祭りへの参加のところに、ロータリーデーと書き加えました。会員の中には、区民祭りへの参加がロータリーデーだという認識をもたれなかった方もいるのではと思います。武者行列は今回初めてであり、ロータリーの存在を地域に十分に示せたとは思いますが、会長としては、ロータリーデーとしての区民祭りへの参加で良かったのではと思っておりますが、会員あるいは家族、さらにインターアクトも含めて、もっと大勢で参加できるプログラムを用意すべきではなかったかというご意見もあるかと思えます。今年度ロータリーデーについてクラブ内の意見を集約する時間もなかったため、付け焼き刃で実施しましたが、次年度以降ロータリーデーをどうするかについては、十分議論してもらえればと思います。

7) 商大高校インターアクトクラブ文化祭

11月2日、3日は、横浜商大高校の文化祭でした。岩沼産こしひかり500g600袋を提供でき完売したことと、学生達が嬉々として活動して

いたことは先程申し上げたとおりです。

8) もちつき大会

11月9日に、国際奉仕委員会が、旭区在住外国人のために、もちつき大会を開催しました。今年度が初めての計画であり、当初は外国人の出席希望者が集まらず心配したのですが、30人弱の外国人が参加してくれました。参加した外国人も大変楽しそうに、また喜んでくれました。ボーイスカウトやガールスカウトの指導者の方々や、当クラブ会員の奥様方にもお手伝いいただき、おもちを食べるだけではなく、持ち帰ってもらうこともできました。久々の当クラブ国際奉仕委員会のプロジェクトであり、これまでの経験からも、外国人が集められるかがキーポイントとなっていました。会員の個人的な繋がり他に、今回はカトリック教会のミサの後の狙うというルートが開拓できたのが、成功の秘訣となりました。青木国際奉仕委員長には奥様と共に前日お2人でもち米30キロをといで水につけていただき、また、カトリック教会のミサにも出席いただき、大変ご苦労をおかけしました。

9) 被災地のクリスマスプレゼント

12月には、災害対策委員会がロータリー財団から補助金を受けての岩沼市の幼稚園等に対するクリスマスプレゼントのプロジェクトが、12月12日、17日、19日の3回に亘って行われました。訪問先幼稚園等への手配からプレゼントの用意まで岩沼ロータリークラブのお世話になりました。「サンタクロースは何故赤い服を着ているの」、「サンタクロースはどうして僕の欲しいものを知っているの」等、子ども達の難問には苦慮しましたが、子ども達が喜んでくれている姿を見ると、奉仕のやりがいを感じさせてくれました。

10) クリスマス例会

12月17日クリスマス例会が、港のみえる丘公園のKKRポートヒル横浜で行われました。当クラブの活性化のために、親睦委員会には、この1年間、本当にお世話になりました。7月の新入会員の歓迎会に始まり、2回の情報集会、川崎競馬観戦、(高足)蟹を食べる会、そして料理教室と3回のこの指とまれ企画、そしてこのクリスマス例会と6月の親睦旅行です。市川委員長には、準備の時間も含めると、本業がどうなっているのか心配になる程時間を割いていただき、心より感謝致します。7月に迎えた4人の会員

も、先輩会員と交流を深めることができ、当クラブ生活を充分に楽しんでいただけるように拝見しています。クリスマス例会も楽しく過ごさせていただきました。幹事との2人羽織では、充分に息が合ったところを示すことができました。我家では、20年振り位で家内も同行させていただきました。めったに家族と外出をしない私にとっては、いい機会となったのです。

11) チャリティーコンサート

年が明けて1月11日は、第4回東日本大震災復興支援チャリティーコンサートです。このチャリティーコンサートは、今年度地区から国際ロータリーへ、意義ある業績賞に推薦されました。①青少年奉仕としての、中学校高等学校の軽音楽部に発表の場を提供し、②社会奉仕としての、東日本大震災の復興支援募金を呼びかけ、この募金で被災地子どもたちへ支援活動を行い、③青少年奉仕として、商大高校インターアクトクラブに募金の協力を得て、ロータリー家族全体の活動とし、④ロビーでは、クラブ奉仕の広報活動として、被災地の震災前後の写真や、被災支援活動の写真を展示し、⑤テレビ(YCV)の地域情報番組やミニコミ紙(タウンニュース)の報道により、旭区内だけではなく、広く横浜市民にこのチャリティーコンサートが伝わり、この活動に賛同する人が当クラブに入会するという会員増強までをも目的とし、五大奉仕の内、三大奉仕が立体的に取り組めるプロジェクトとして、組み立てたのです。今回は、旭区だけではなく、保土ヶ谷区、瀬谷区からも計9校16グループが参加し、彼らは設営、撤収等の運営面へも協力し、交代時間を早め、午後1時10分から、当初7時30分までの予定であったものを、1時間30分も早い午後6時には演奏を終了させたのであります。クラブ財政の厳しい中で、当初50万円の支出を予定しましたが、福村委員長がコンサート自体の運営だけではなく、協賛金の募金活動にも積極的に取り込まれ、60万円の協賛金を集められ、クラブからの支出は12万円で済みました。また次年度の被災地の子ども達へのクリスマスプレゼントの基金として、12万6千円余りを集めることができました。財政再建策が議論される中で、チャリティーコンサートへの支出を問題視する意見も出されましたが、私としては、国際ロータリーから意義ある業績賞を授与できるというこのプロジェクトは継続すべきだと考えており、今回福村委員長お一人

におんぶにだっこだった協賛金の募金を、クラブ全員で集めれば、クラブ財政からの負担もなく運営できるのではと考えております。

12) 体験例会

3月25日に体験例会を行いました。昨年まで年2回だったものを、段々参加者を集めるのが難しくなっているようなので、1回にしたのですが、ようやく5人の参加者がきてくれました。その後入会の可能性のあるお1人にフォローを行っているのですが、年度末迄の入会は厳しいようです。今年度7月当初に4人の移籍者を迎え、会員増強のノルマは達したかと気楽に構えていたら、この年度末の退会を含め3人の退会者を出してしまいました。ガバナー補佐から旭区に事業所・自宅のあるJC卒業生の名簿をいただき手紙を出しましたが、全く反応がなく、これもガバナー補佐からのアドバイスで、他のクラブで成功している例をまねて、情報集会で、4グループに、各グループ1人の入会候補者を探そうにお願いしたのですが、どのグループからも入会候補者の名前は挙がりませんでした。会員全員を会員増強委員にし、JC卒業生に働きかけ、情報集会で各グループに1人のノルマを課し、体験例会もやりました。私としては、打っ手は全て打ったというつもりですが、うまくいかず、後藤会員増強委員長の頑張りで、滝沢さんが復帰し、ようやく純増2名が達成できたと思っていたら、本日退会届がでて、理事役員会で審議してもらいますが、純増1名となる可能性が大きいのです。いろいろご指導いただいたガバナー補佐には、ご期待に添えませんでした。心から感謝致します。一般論の話となりますが、会員増強ができずこのままでいくと、会員は減少するだけです。あと10年もすると、今の3分の2になる可能性があります。危機感をもっていただければと思います。

13) ガールスカウトの清掃奉仕

4月11日は、ガールスカウト神奈川県第102団の清掃奉仕に参加を予定しておりましたが、雨のため中止となりました。この清掃奉仕は、ガールスカウト主催のプロジェクトであり、それに当クラブが協力して参加するというものです。ガールスカウトには、今年度、当クラブが主催するもちつき大会で道案内役でご協力をいただきました。また、6月7日の発団20周年記念式典は、大池公園の子ども自然公園で盛大に

行われ、私も出席して参りました。友好団体と互いのプロジェクトに協力し合う関係も大切にしたいと思っております。

14) 親睦旅行

そして、6月13日14日に岩沼ロータリークラブとの合同親睦旅行が行われました。計画から現地での案内まで、岩沼ロータリークラブのお世話となりましたが、当クラブ内だけではなく、岩沼ロータリークラブ会員との間にも十分親睦の機会がもてたのではないかと考えています。岩沼ロータリークラブにご準備いただいたのに、参加者が3分の1であったのが残念です。

15) 奨学生

4月から、米山奨学生宋謹衣さんを迎えております。また当クラブは財団奨学生として、今年度高橋淳さんを送り出し、続いて次年度も朝倉春菜さんを送り出すことが決まっております。当クラブがこのような志の高い若い学生達の勉強のお手伝いをすることができることを、誇りに思うものです。彼らが、十分に留学の成果を挙げられることを、期待をもって見守りたいと思います。

16) 結語

以上、この1年間の活動を駆け足で振り返ってみました。「平穏無事」と題したことに若干疑問を有される方もいられるかもしれませんが、5月20日の「波乱万丈」の回と合わせて、会長として充実したと自称できる活動ができましたことは、会員皆様のご協力があつてこそであり、心より感謝します。前回申し上げたとおり、漆原幹事と事務局佐藤さんには、今年度特有の活動が多々あり、お二人のバックアップがあつたからこそ、満足できる成果をあげることができました。お二人のご支援にも、心より感謝する次第です。なお、実は一人の会員の退会に際し、クラブ会費を半年分回収できず、その分を、安藤達雄会員にご負担いただき、何とか未収金が発生することを阻止することができました。申し上げる機会がなく最後になってしまいました。皆様にご報告申し上げると共に、改めて安藤達雄会員に感謝申し上げます。1年間、ありがとうございました。

■次週の卓話

7/1(水) 新年度開始

会長、幹事、五大奉仕委員長挨拶

週報担当 鈴木 茂之

平成27年度5月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	秋 内 繁	100	0	100	21	太 田 幸 治	100	0	100
2	安 藤 公 一	33	67	100	22	斎 藤 善 孝	100	0	100
3	安 藤 達 雄	-出席規定免除-			23	桜 田 裕 子	33	34	67
4	青 木 邦 弘	100	0	100	24	佐 藤 真 吾	67	33	100
5	福 村 正	67	33	100	25	佐 藤 利 明	100	0	100
6	後 藤 英 則	100	0	100	26	関 口 友 宏	100	0	100
7	兵 藤 哲 夫	-出席規定免除-			27	杉 山 雅 彦	100	0	100
8	市 川 慎 二	100	0	100	28	鈴 木 茂 之	33	67	100
9	五十嵐 正	100	0	100	29	田 川 富 男	100	0	100
10	川 瀬 恵 津 子	-出席規定免除-			30	滝 澤 亮	100	0	100
11	北 澤 正 浩	100	0	100	31	内 田 敏	-出席規定免除-		
12	今 野 丁 三	-出席規定免除-			32	漆 原 恵 利 子	67	33	100
13	倉 本 宏 昭	-出席規定免除-			33	矢 田 昭 一	-出席規定免除-		
14	増 田 嘉 一 郎	100	0	100	34	吉 野 寧 訓	-出席規定免除-		
15	松 本 英 二	33	0	33	35	吉 原 則 光	-出席規定免除-		
16	新 川 尚	100	100	200	36				
17	二 宮 麻 理 子	100	0	100	37				
18	二 宮 登	100	0	100	38	高 梨 昌 芳	名 誉 会 員		
19	岡 田 清 七	-出席規定免除-			39	松 本 良 彦	名 誉 会 員		
20	太 田 勝 典	-出席規定免除-			40				
例会日	13日	20日		27日					平均
例会出席率	$\frac{26}{29}$ 89.66%	$\frac{22}{28}$ 78.57%	$\frac{26}{27}$ 96.30%						
修正出席率	$\frac{28}{29}$ 96.56%	$\frac{26}{28}$ 92.86%	$\frac{27}{27}$ 100%						96.47%